



我妻とくお議会レポート

No. 55

我妻徳雄事務所

米沢市大字口田沢1308-2

TEL. FAX 0238-31-2212

メール waga1308@ms3.omn.ne.jp

ゆきしろ

3月議会

一般質問

マツ・ナラ枯れ対策など2点を質問

3月定例会(議会)において、「マツ・ナラ枯れ対策」「有害鳥獣対策」について一般質問を行いました。

また、新年度の予算を審議する予算特別委員会では、「乗り合いタクシーの受付け時間等」「合併浄化槽の普及」「避難所の運営マニュアル」「市道の舗装整備(オーバーレイ)」「市立病院職員の処遇改善」など、市民ニーズに即した提案・提言を行いました。

被害木の資源化にむけて

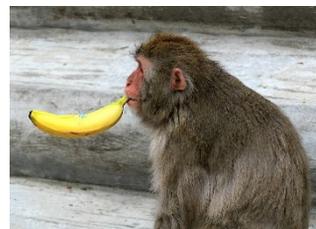
「とくお」本市周辺部の山々でマツ枯れ、ナラ枯れ被害が拡大しています。マツ・ナラ枯れの木は、伐採もされず山に放置されています。これ以上被害を拡大させないため、また景観をよくするために、被害木の伐採が必要です。マツ・ナラ枯れの被害木を、木質バイオマス発電の燃料などに活用してはどうでしょうか。

病害虫が付着している伐採木の移動は、原則禁止されています。現在は伐倒薫蒸処理^②や、伐倒処理をした被害木は、処理した場所に置いたままとなっています。被害を減らすため、被害木の処理を進める方法を県と協議します。

② 燻蒸処理とは病害虫の寄生した丸太をシートで密封し、薬液で丸太内部の害虫を殺虫する方法です。



サル被害防止に向けて



「とくお」本市には16群756頭のサルが、生息していると推測されています。統計をみると、年々生息数が増加しています。さらにサルの行動も人を威嚇したり、家の中へ侵入したりと、エスカレートしています。農作物等へ被害を与える加害群の把握はできていますでしょうか。

発信機の装着状況はどうなっているでしょうか。また、GPS発信機は、どのように活用しているのでしょうか。

「産業部長」農作物に被害を与える加害群は、大白布と小白布に生息する「大滝群」と、白布温泉に生息する「白布群」を除く14群、約660頭と推定しています。

加害群のうち、38頭に電波発信機を装着しています。また、4頭にGPS発信機を装着しています。電波発信機の情報をもとに、日々の出没状況や、出没情報を希望者へメールで配信しています。また、インターネットを利用した「野生鳥獣対策システム」による出没履歴の開示も行っています。

「産業部長」3年ほど前から斜平山のマツ枯れや、ナラ枯れの被害が深刻なことから、やまがた緑環境税の「荒廃森林緊急整備事業」により伐倒処理を実施しています。森林病害虫等防除法に基づいて、県の「森林病害虫等のまん延を防止するための命令」により、森林

冬季を想定した避難所マニュアルを

「とくお」東日本大震災や熊本地震、昨年の秋田県での集中豪雨など、全国各地で大規模災害が頻発しています。冬季に大規模災害が発生しないとは限りません。しかし「避難所マニュアル」は、基本的に夏を想定しています。冬でも対応できるマニュアルの策定が必要ではないでしょうか。

「危機管理主幹」東日本大震災や、それ以降の災害による教訓などを踏まえ、避難所マ



ニュアルを修正してきました。しかし、冬季の対応に関しては、マニュアル化されていません。現在、冬季を想定して「事業継続計画」を策定しています。あわせて避難所マニュアルも見直しを行います。

予算委員会の主な発言

- ◆ 乗の合いタクシー受付け方法
- ◆ 「地籍調査」の進捗状況
- ◆ 合併浄化槽の普及
- ◆ 地球温暖化対策推進事業
- ◆ 南原の堆肥製造事業所
- ◆ モンキードックの活用
- ◆ 市道の舗装整備
- ◆ 災害時の「業務継続計画」
- ◆ 大規模災害時の「助援計画」
- ◆ 避難所の運営マニュアル
- ◆ 昆虫館「山谷コロレクション」
- ◆ 水道の未普及区間改善
- ◆ 市立病院職員の処遇改善

「地籍調査」を考える

我妻とくお 予算委員会発言から

地籍調査とは、主に市町村が主体となつて、土地の所有者、地番、地目を確認し、境界の位置と面積を測量する調査です。土地の地籍は、明治初期の地租改正の調査記録を基礎としたものが多く、正確なものではありません。

杭を残して悔いを残さず

地籍調査を行うことで、土砂崩れや水害等の災害が発生した場合に、容易に土地境界の復元が可能となり、迅速かつ正確な復旧作業が行われます。また、正確な面積と地目により、適正かつ公平な固定資産税の課税が可能となるなどの効果があります。

調査では、境界をはさんだ土地所有者の方々に、双方の合意の上で土地の境界を確認してもらいます。地籍調査が行われた地域では、土地の表示に関する登記の情報が正確なものに改められます。調査等に必要経費の2分の1は国が、

また残りの経費の2分の1（全体の4分の1）は、都道府県が補助しています。米沢市では、2015年から地籍調査を再開し、3年間で59ヘクタールの調査を終了しましたが、全体の0.13%実施したのみです。



一般質問の様子は米沢市議会のホームページから映像で見ることができます

我妻とくおのホームページ

http://
www3.omn.ne.jp/~waga1308/

毎日更新中!

議員活動を全て公開

どうだべなあ

毎年繰り返してしまふことだが、桜の花が咲く頃になると、この冬の厳しかったことや、冬の間思っていた様々な悩みや不具合などをすっかり忘れてしまふ▼辛いことは忘れてしまふのが良いのだろうが、今から準備すれば次の冬には解消できることも多々あるだろうに▼最近よく目や耳にするのが、国を動かす人たちによる政策の私物化や組織的な不正など、国をも脅かすようなスキャンダル。追及されても「知らない」「記憶にない」などと、のらりくらり逃れていけば、いつかシモジモの者たちは、忘れてくれるとも思っているのか▼日本人の特徴のように言われる「のど元過ぎれば何とやら」では、済ませられない話しもあるはずだ(雅)